米国のTier1事業会社がグローバル規模のコネクテッドカーサービスにOpenetを採用

米国の先進事業会社がOpenetのデータマネジメントソリューションにより、多くの組織で構成される複雑なエコシステムを連携、管理し、グローバル規模のコネクテッドカーサービスを提供

2019年5月 23（木）東京発　デジタルビジネスプラットフォームの先進プロバイダであるOpenet Japan（日本支社：東京都港区、カントリーマネージャー：松冨
貴子、以下Openet）は本日、Openet Data
Fabricソリューションが米国のTier1事業会社に導入されたことを発表しました。今後、同社のグローバル規模でビジネスを展開するコネクテッドカーサービスの決済および調整プロセスで使用されるデータの収集と管理に活用される予定です。同事業会社はコネクテッドカー分野のパイオニアとして、現在世界市場の80%を占めており、Openetのマイクロサービスをベースとしたソリューションにより、200ヵ国以上で展開しているコネクテッドカービジネスにおける高度に複雑な決済および調整プロセスを簡素化していきます。

Openet Data
Fabricソリューションは、事業会社における従来の決済プロセスをリプレースする形で導入されました。従来の決済プロセスはローカルオペレータネットワーク、サードパーティーのパートナー、およびサブスクライバーから寄せられるデータ量と複雑性の増加により、非常にコストがかかり、管理が困難になっていました。事業会社はサービスを提供する上で多くのローカルキャリアと連携しており、「クライアント」ごとに契約や要件が異なるため、決済が大変煩雑になります。Openetのソリューションの導入後、僅か半年で事業会社の運用コストは従来のモノリシック（一体的な）なシステムと比較して半減しました。

Openet Data
Fabricはデータの管理、処理、ガバナンスに対して戦略的かつ包括的なアプローチを提供します。事業会社はOpenet Data
Fabricソリューションを利用することで世界中のベンダーのデータレコードを標準フォーマットに変換し、一元的なBSSプラットフォームに集約することが可能になります。これらのデータレコードには、車両のリモートモニタリング、メンテナンス、ロケーション、セキュリティ、緊急サービス、そして車内Wi-Fiに関する情報が含まれています。

同ソリューションにはオープンソーステクノロジーが採用されており、全てクラウド上に実装されています。同事業会社は世界中で500社に及ぶキャリアパートナーと提携してサービスを提供しており、こうした複雑な環境に合わせて自在にスケーリングし、適応することができます。また、マイクロサービスで構築されたクラウドデリバリプラットフォームが事業会社の本番環境に導入されたのは今回が初めてのケースとなります。

Openetソリューションのオープンかつアジャイルなアーキテクチャにより、事業会社は必要とするマイクロサービスを選択し、特定のビジネスロジックを構築することが可能になります。また、オープンAPIを備えるこれらのコンポーネントにより、既存のエコシステムの中でシンプルに連

携させることができます。事業会社はさらにOpenetソリューションを独自のクラウドデリバリプラットフォームと連携させており、デリバリの自動化と運用管理に生かされています。

OpenetのCEO、Niall Norton（ナイル・ノートン）は次のようにコメントしています。「コネクテッドカーは現在すでに実用化されており、多様なデータ量が生成されますが、グローバル規模のIoTバリューチェーンを構成する全ての組織に対してこうしたデータを収集、管理し、上流のシステムで収益化、決済、調整を実現する必要があります。私たちはコネクテッドカーの分野のまさにパイオニアである事業会社様と協業できることを大変光栄に思います。コネクテッドカー市場の事業会社は、自動車製造会社と連携し、コンテキストデータをオープンかつ柔軟に共有できるソリューションを必要としています。Openetのソリューションを導入することにより、市場を牽引する事業会社様はIoTビジネスモデルを構成する他の事業会社、ベンダー、サードパーティーとの大規模で複雑な仕組みを連携、管理することが可能になります。」

Openet について

Openet が提供するデジタルBSS（Business Support Systems）は、サービスプロバイダのデジタルサービスによる新たな収益源の創出、カスタマーエンゲージメントの向上、そして5Gによるビジネスを支援しています。Openet のソリューションにより、サービスプロバイダはアジリティを高め、イノベーションを推進し、価値創出までの時間を短縮することができます。OpenetのデジタルBSSは、4G環境によるコンテンツやデータサービスの収益化から、5G環境によるイノベーティブなエンタープライズIoT製品／サービスの提供の実現まで幅広く対応しており、過去に大規模なトランスフォーメーションプロジェクトがうまく機能しなかった従来の大手企業に対して高速かつアジャイルな手段を提供します。1999 年の設立以来、Openet は通信ソフトウェアの開発とイノベーションの最前線に立っています。最も進歩的で要求の厳しい世界中の最大手通信事業者と長期にわたって構築してきた関係こそOpenet の成功の象徴だと言えます。詳細はhttps://www.openet.com/openet_japanをご覧ください。

【取材に関するお問合せ先】
株式会社エム・アンド・エル（PR代行）
担当：高橋
openet@mlrev.co.jp

【製品／サービスに関するお問合せ先】
Openet Japan
〒107-0061
東京都港区北青山3-6-7
青山パラシオタワー11階
TEL：03-5778-7825
info@openet.com

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com